

索道安全報告書

2012年

中部スノーアライアンス株式会社



ひるがの高原スキー場
ひるがの高原コキアパーク

第1クワッドリフト
第2ペアパラレルリフト
第3ペアパラレルリフト
第5ペアリフト
第6ペアリフト

1、利用者の皆様へ

当社の索道(リフト)事業に対して、日頃よりご利用並びにご理解を賜り、誠にありがとうございます。
当社、中部スノーアライアンス株式会社は、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げるマックアースグループの一員として、株式会社マックアースの運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんでいただけるよう、法令厳守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取り組みと実態について、広くご理解をいただくために公表するものであります。

中部スノーアライアンス株式会社
代表取締役 一ノ本 達己

2、基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、全員に周知、徹底しております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及びこれに関連する規定(本規定含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めようこと。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認を励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故、災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく敏速・正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すうこと。

(2) 安全目標

索道運転事故件数0件を目標にします。

引き続き職員一致団結して目標に向けて安全輸送に取り組む所存です。

3、事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 索道運転事故(索道人身傷害事故)

平成23年度、運転事故等が2件発生しました。

① 1月26日 第3ペアパラレルリフトにて、乗車搬器が第1号支柱を通過後、乗客がバランスを崩して搬器より落下し、係員が落下に気付くのが遅れリフトを停止したものの後続の搬器に頭部が当たり負傷(軽傷)しました。

② 3月18日 第1クワッドリフト乗り場にて4名乗車した搬器の一番左側の乗客の座りが浅かったため、搬器出発後乗客が搬器から落下し原動支柱の基礎に頭部が当たり負傷(軽傷)しました。

これらの事故の再発防止策として以下の対応を行い事故防止に努めてまいります。

①利用者への乗車方法及び注意事項の周知の充実を行い、又乗降時に不安のありそうな乗客への声かけを徹底しました。

②索道係員に乗車後の乗客の状態を含めた乗降時の乗客への注視等を再徹底し、危険予知した場合は必ず運転を停止して措置を行うことを再教育しました。

(2) 災害(地震・風害・豪雪・凍結など)

一時的な強風のため運行開始が遅れたり、一部のリフトについては運行を停止しました。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成23年度、インシデントの発生はありません。

(4) 行政指導

平成23年度、監督官庁からの指導はありませんでした。

4、安全輸送のための取組

(1) 人材教育

① 各種索道研修会等の参加

- ・ 美濃地区索道協会奥美濃支部会(シーズン反省会)
- ・ 美濃地区索道協会技術講習会
- ・ 美濃地区索道協会雪上車両運転取扱い講習会
- ・ 中部運輸局索道技術管理者研修会
- ・ グループスキー場索道担当者会議(年2回)
- ・ 安全索道株式会社にて握索機OH研修を受けました

② 社内研修の実施

平成23年5月13日 夏期シーズンに向けた研修会を索道現場にて実施しました。

平成23年12月15日 冬期シーズン索道スタッフ全員を対象とした索道研修会を実施いたしました。その他、各索道現場にて随時、安全に関する教育・運転取扱いに関する教育を行いました。



5月降り場での乗客への対応方法講習



12月冬季索道係員講習会

(2) 緊急時対応訓練

平成23年5月13日 緊急時を想定した救助訓練を実施しました。

平成23年12月15日に緊急時を想定した救助訓練・予備エンジン操作訓練を実施しています。



5月救助訓練



12月予備エンジン操作訓練

(3) 安全のための投資と支出

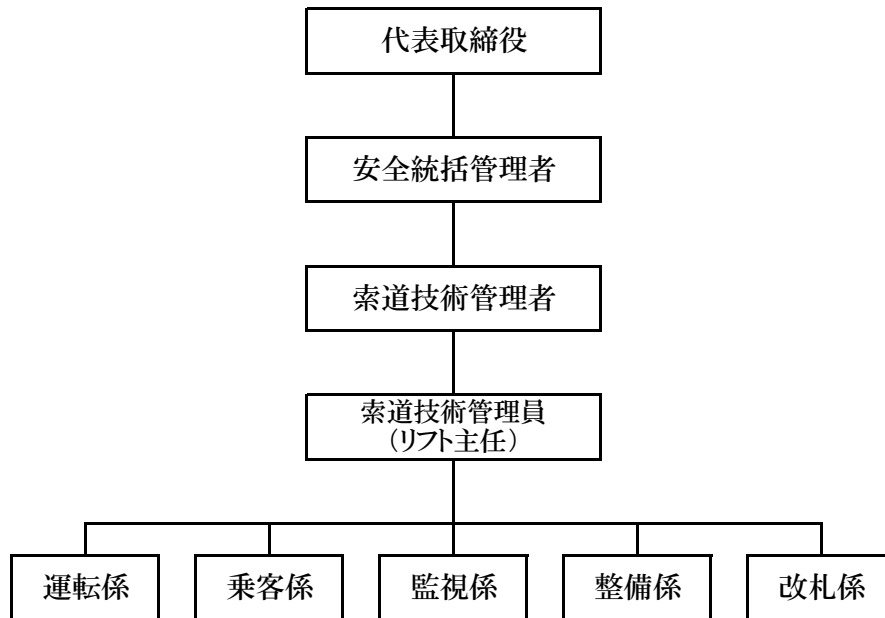
安全の維持及び向上のため、下記の表のとおり整備工事を実施いたしました。

第1クワッドリフト	1、 握索機オーバーホール 45基 2、 緊張折返滑車 ゴム交換 3、 減速機オイル交換 4、 ボールジョイント分解整備 山麓 5、 押送テンションローラーベアリング交換 山麓 6、 場内押送用Vベルト・タイヤ交換
第2ペアパラレルリフト	1、 緊張ユニット オイル交換 2、 索輪ゴムライナー 4本交換
第3ペアパラレルリフト	1、 緊張ユニット オイル交換 2、 ハンガーブッシュ交換 3、 索輪ゴムライナー 6本交換
第5ペアリフト	1、 握索器点検整備(全基) プレッシャーナット皿バネ交換 2、 減速機オイル交換 6基 3、 脱検抵抗器交換 4、 脱検メーター交換
第6ペアリフト	1、 握索器点検整備(全基) プレッシャーナットオイルシール 2、 緊張ユニットオイル交換 交換 3、 脱検抵抗器交換

その他各リフトにおきまして全索受装置、場内装置等の各部の給油、制動機関係のオイルの交換を行いました。

5、 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にして入ります。
 又、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリハットや反省・気付き・改善提案等を索道技術管理員へ報告し日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

6、 利用者の皆様の連帯とお願い

(1) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全サービスが提供できるよう約立てます。

(2) リフト乗車時の注意事項

お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に係わっています。リフトご利用には、責任と義務が伴います。

次のことを守ってください。

(乗車時)

- ① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ② 乗車位置では、滑走具を正しく前に向けてお待ちください。
- ③ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ④ 乗り損なったら、すぐにリフトから離れてください。
- ⑤ リュック、衣類等のひもにご注意ください。

(乗車中)

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- ② 椅子から飛び降りること、椅子を揺らすことはしないでください。
- ③ 身の回り品や物品の落下にご注意ください。
- ④ 空き缶、たばこの吸い殻、その他の物品を投げ捨てないでください(環境保護の為)。

(降車時)

- ① 降り場が近づいたら、セーフティーバーをあげ降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようご注意ください。
- ② 降りられなかったら、椅子にそのまま座って係員まで申し出てください。

(その他)

係員の指示に従ってください。

連絡先 〒501-5301

岐阜県郡上市高鷲町ひるがの4670-75

中部スノーアライアンス株式会社

ひるがの高原スキー場

TEL 0575-73-2311